



ろっけん通り歩行者天国 太鼓あり踊りありの滞在型イベント

◆蘇原中央通商店街振興組合・ろっけん通り歩行者天国実行委員会

2024年9月14日(土)に、各務原市の蘇原中央通商店街にて、「ろっけん通り歩行者天国」が開催されました。昭和50年から始まり今年で47回目を迎える、各務原市で最も歴史のある商店街イベントです。当日は小雨がパラパラと降る生憎の天気でしたが、市内の方を中心に多くの方が訪れていました。

■ 地元演奏グループの生お囃子による盆踊り

北会場では、中濃エリアを拠点に活動するお囃子演奏グループ「踊月夜(よづきよ)」の生お囃子による盆踊りが開催されていました。岐阜県奥美濃、郡上一円で古くから唄い踊られ続けている「郡上おどり」「白鳥おどり」を、太鼓・笛・三味線などの和楽器で生演奏し、その周りを地域の参加者の方々が輪を作って盆踊りを楽しんでいました。



▲生お囃子による盆踊りを楽しむ人々

生のお囃子はダイナミックで臨場感があり、

踊りを楽しむ方々も、ご年配の方からお子さんまで、とても生き生きはつらつとした様子でした。同会場では盆踊りの前によさこい踊りも開催されており、早い時間帯から盛り上がっていました。

■ DJ・生バンドによる音楽の提供

商店街沿いのセブンイレブンの中央会場では、DJや生バンドが音楽によって会場を盛り上げていました。ビームライトでステージを明るく演出するなど、盆踊りと打って変わったモダンな雰囲気、若者を中心に多くの方が集まって音楽を楽しんでいる様子でした。



▲生バンド演奏

■ 日本一の太鼓グループによる太鼓生演奏

大垣西濃信金前の南会場では、各務原太鼓保存会による太鼓の生演奏がありました。各務原

太鼓保存会は、日本太鼓協会が主催する太鼓祭 2022 で日本一になった実力のあるグループです。



▲迫力の太鼓演奏

踊りも交えたダイナミックな演奏は迫力満点で、日本一の演奏に圧倒されました。また太鼓を打つバチには電飾が施され、太鼓を激しくたたく際に出る光の軌跡がとてもきれいで、観る人を魅了していました。

■ 長時間楽しめる滞在型イベント

蘇原中央通商店街振興組合の池戸さんにお話をお伺いしました。

「当イベントは昭和50年から年に1回開催で、今年で47回目(コロナで2年中断)となる各務原市で一番歴史のあるお祭りです。他地域のイベントが運営者の高齢化などで開催を取りやめる中、当イベントは数年前から実行委員会方式に切り替え、地元の有志が集まって運営することで今でも継続できています。近隣の事業主・学生・一般ボランティア・航空自衛隊岐阜基地・消防団などが一丸となり、当日の警備・

交通誘導や、ゴミ拾いなどを進めてくれています。また地域の企業から協賛金をいただいて運営しているため、運営資金も何とか捻出できています。



▲屋台エリアのオープンカフェ風スペース

当イベントの特徴として、屋台エリアやキッチンカーエリアに、オープンカフェ風のテーブルや椅子を多数設置しています。歩行者天国を歩いていると疲れてしまうため、椅子に座ってゆっくりしていただき、できるだけ長く滞在してもらおう狙いがあります。人の滞在時間が延びることでイベントも盛り上がり、商店街店舗や屋台の売り上げも上がります。各務原市の商店街も高齢化が進み、訪れるお客様の数も減少傾向ですが、子供達や若者の記憶に残り思い出となるようなイベントを続けていくことで、商店街の認知度を維持して集客につなげていきたいと思えます。将来的には商店街のイベント参加権や、商店街で作った商品を返礼品としてクラウドファンディングを立ち上げて資金を集め、事業者の協賛金に頼らない、市民が支えるようなイベント運営を進められたらと思えます。」

ENAみのじのみのり祭 3on3バスケットボール大会 小学生から大人まで楽しめるバスケットイベント

◆恵那市商店街振興組合

2024年9月21日(土)に、恵那市の恵那銀座商店街駐車場にて「3on3バスケットボール大会」が開催されました。恵那市「みのじ

のみのり祭り」の協賛イベントとして行われる毎年恒例のイベントで、今年で第32回となります。小雨模様での開催でしたが、地元のバス

ケットファンや、お祭りに訪れた人々で当日は大いに盛り上がりました。

■ 小学生の部から試合開始

午後1時から、小学生の部として地域の小学生チームが集まり、白熱のトーナメント戦が行われました。コート回りには同級生やご家族が集まり、熱い声援を送っています。19チームで繰り広げられたトーナメント戦は、「はんぶんこ」という女子チームが見事優勝を勝ち取りました。



▲男子対女子 白熱の3on3

■ ENAレンジャーとの夢の対戦

その後、優勝特典として優勝チームとENAみのじのみのり祭を宣伝する戦士部隊「ENAレンジャー」とのスペシャルマッチが行われました。小学生対大人の試合でしたが、点数にハンデをつけられた上、マスクをつけて視界が悪いというハンデもあり、とても面白い熱戦となりました。



▲ENAレンジャーVS小学生優勝チーム

ました。結果、見事に小学生チームが勝ちきり、優勝に花を添えました。

■ 雨にも負けずみんなで水取り作業

4時からの中学生以上の部では、生憎雨が強くなり少し中断となってしまいましたが、雨がやんだ後は参加者みんなで協力してコートの水取り作業を行い、速やかに再開することができました。



▲みんなで協力してコートの水取り作業

試合は中学生からプロを目指す社会人チームまで、全て同じトーナメントに入り競い合われます。中学生でも勝てるようハンデが細かく工夫されており、32回の歴史の中で微調整され、最適化されたハンデとのこと。また選手が転んで怪我をしないよう、クッションフロア仕様のマットが敷かれ、ゴールリングも昨年新調したガラス製の頑丈なものが設置されており、主催者側の大会に掛ける思いが感じられました。36チームが参加した熱戦ばかりの熱いトーナメント戦は夜の9時頃まで続き、大盛況の中で終わりました。

■ バスケットを通じて商店街で楽しい思い出を

当大会の主催である恵那市商店街振興組合理事長、大塚康芳様にお話を伺いました。

「本大会は今年で32回目を数える歴史ある大会で、毎回多くの参加者の方が集まる人気企画です。賞品として優勝チームには、当商店街にある「宝寿司」さんで使える2万円分のお食事

券、準優勝には秋の果物詰め合わせの他、特別賞などにも賞品をお渡ししています。こういった賞品は当商店街の商品を使うようにしています。

32回も続けていると、以前小学生として参加していた少年が、自分の子供を連れてきて小学生の部に参加させ、自身も社会人チームとして参加するなど、家族総出で長年このイベントに参加いただけるような事も増えてきました。また中高生にとっては、プロを目指すような社



▲沢山の参加者が集まりました

会人チームや大学生チームと試合をすることができるよう、学生バスケット部員の貴重な腕磨きの場ともなっています。

以前は地元の学校を回って参加者を募っていましたが、今はSNSで募集を開始するとすぐに参加申し込みがあり、東濃地域を中心に人気が高まっているのを実感しています。参加希望者が増える中、夜の9時までに終わらなければいけない等の制約もあり、参加チームを増やすことができないもどかしさがあります。今後は複数地域で予選を行い、決勝大会をここでやるなど規模を大きくしていきたい気持ちもありますが、ストリートバスケットという商店街の中での取り組みにこだわっていきたい気持ちもあり、難しい課題だと思っています。

春の恵那まちなか市同様、こういった市民が参加する「参加型イベント」をこれからも続けていくことで、子供達に商店街での思い出を作ってもらい、大人になってまた戻ってきてもらえるような商店街にしていけたらと思っています。」

柳ヶ瀬ジュラシックアーケード ～恐竜イベントが盛り沢山～

◆柳ヶ瀬ジュラシックアーケード実行委員会

2024年9月28日(土)～29日(日)に、柳ヶ瀬商店街にて「柳ヶ瀬ジュラシックアーケード」が開催されました。今年で12回目を数える柳ヶ瀬の毎年恒例イベントです。恐竜に関する沢山のイベントや恐竜グッズの販売などで、恐竜ファンの子供達を大いに喜ばせていました。

■ 動く巨大恐竜に大興奮

柳ヶ瀬商店街の各スポットには、大きな恐竜の模型が展示され、子供達を釘付けにしています。実際に口や尻尾などが動き、本物に近い恐竜が再現されていたため泣いてしまう子供もいたほどです。多くの子供達は恐竜前で恐竜のポーズを取ったり、同じように大きな口を開け

たりして記念撮影を楽しんでいました。



▲ティラノサウルスと対面

定番のティラノサウルス・トリケラトプス、空中につるされたプテラノドンなど、迫力のある恐竜から、デイノニクスという小型で愛嬌の

ある恐竜まで、様々な恐竜が展示され来場者を楽しませていました。

■ 恐竜クイズで恐竜博士を目指そう

子供向けの恐竜クイズイベントも開催されていました。各恐竜前には恐竜クイズが貼られ、子供達はその答えをクイズシートに記入します。全ての恐竜を回りクイズシートを本部に持って行き、全問正解だと「恐竜博士認定書」がもらえる企画です。お父さんお母さんに手伝ってもらいながら、クイズを解いて回る子供達が印象的でした。



▲恐竜クイズの答え合わせ

■ 本物の化石発掘体験

旧高島屋前では、化石発掘体験のコーナーが設置されていました。砂の中に埋められた本物のアンモナイトやサメの歯などを、スコップを使って探し出します。10分500円で取り放題、取った化石は持って帰れるとのこと、子供



▲大人気の化石発掘体験

を中心に大盛況な様子でした。

化石発掘以外にも、石の塊をハンマーで割って、キラキラの水晶を取る「ジオード割り」や、恐竜ミニカーを使ったミニボウリング、恐竜グッズが当たる輪投げコーナーなど、様々な催しで賑わっていました。

■ 丹波竜のちーたんも応援に

恐竜のイベントということで、恐竜で有名な兵庫県丹波市のマスコットキャラクター「ちーたん」も応援に駆けつけていました。柳ヶ瀬商店街を練り歩くちーたんに子供達も大喜びです。当イベント実行委員が、恐竜が盛んな地域へも積極的に声かけを行い、柳ヶ瀬以外の地域からもこのような協力を要請しているとのこと。



▲兵庫県丹波市の丹波竜キャラクター「ちーたん」

■ 子供向けのお店の誘致につなげたい

岐阜柳ヶ瀬商店街振興組合連合会理事長、水野琢朗様にお話を伺いました。

「当イベントは今年で12回目となり、コロナによる中断が2年ありましたが、年々人気が高まっているのを実感しています。恐竜の設置や当日のイベント運営は、商店街スタッフで協力して行っているほか、最近では地元の小中学校とも連携して、中学生や小学6年生の生徒にもボランティアとしてお手伝いいただいています。数年前に自分が参加したイベントに、今度は運営側として携わるのは小中学生にとっても学びが大きく、貴重な経験となっていると思いま

す。また若い頃から大人と一緒にあって地域を盛り上げることで、当地域への愛着心なども高まります。こういったイベントの時だけでなく、日常的にも子供や学生などの若い人たちが訪れ

るような商店街にすることで、子供向け・若者向けのお店の誘致などにもつなげていき、商店街全体で新陳代謝を進めていくきっかけにできたらと思っています。」

◆ 中小企業庁

商店街から考える！まちづくり人材育成講座「マチスタート」の開催

中小企業庁は、商店街等の地域で関係者を巻き込みながら、エリア価値向上を担える人材を育成することを目的とした講座「マチスタート」を令和7年2月4日(火)～7日(金)に開催いたします。

地域の再活性化、地域・エリア価値の再構築を促すためには、改めて地域の本質的な課題を深掘るとともに、まだ活用できていない地域としての「個性」や「多様性」を活かし、新たな視点に立った取組を地域のステークホルダーを巻き込みながら推進することが必要です。

こうした取組を推進していくには、地域全体を俯瞰し、その地域における本質的な課題を発見するとともに、関係者間の合意形成や持続可能な実施体制の整備をサポートするなど、地域の立て直し・再構築を担う総合的なコーディネート役の存在が重要です。

そのため、総合的なコーディネート役を育成していくための講座プログラムを開催し、全国各地でより効果的な面的伴走支援を実行し、いずれは各域において自主的に課題解決等に取り組めるよう裾野を広げていくことを目的としています。

【対象者】

- 自身の地域を10年20年後、良くしていきたい思いがある方。
- 地元の商店街をもっと盛り上げて地域を良くしたいと思う方。
- まちづくりの関係者とコミュニティ・ネットワークを広げたい方

例)まちづくり会社職員、商店街関係者、行政職員、商工会議所職員、商工会職員、金融機関職員、等

【募集人数】

30名程度(定員を超える応募があった場合、選考となる場合がございます。)

【募集方法】

ご応募は以下URLからお申込みください。

<https://mm-enquete-cnt.meti.go.jp/form/pub/kensyu/2024-32-01>

※申し込みサイトは申し込み期間の11月1日(金)～12月25日(水)まで開設しています。

【お申し込み受付期間】

令和6年11月1日(金)～

12月25日(水)12:00

【研修期間】

令和7年2月4日(火)～2月7日(金)

【研修場所】

経済産業省経済産業研修所

〒189-0024

東京都東村山市富士見町5丁目4番地36

TEL: 042-393-2521

FAX: 042-396-3194

※研修期間は原則、経済産業研修所に宿泊していただきます。

【お問い合わせ先】

「マチスタート」事務局

TEL: 03-3501-1511

受付時間: 9:00～12:00、13:00～17:00(土日、祝日を除く)

岐阜県商店街だよりは、岐阜県からの補助金を受けています。